

### Ⅲ 基本方針

獅子島航路を取り巻く環境は大きく変化し、とりわけ航路経営に関しては運航経費の増大に運賃収入が追いつかず、鹿児島県、長島町、水俣市から航路補助を受けながら、存続している現状が認められる。さらに住民の過疎化、高齢化も進んで、約 800 人の獅子島住民では現状の 3 航路を維持するには厳しい要素が数多く見受けられる。

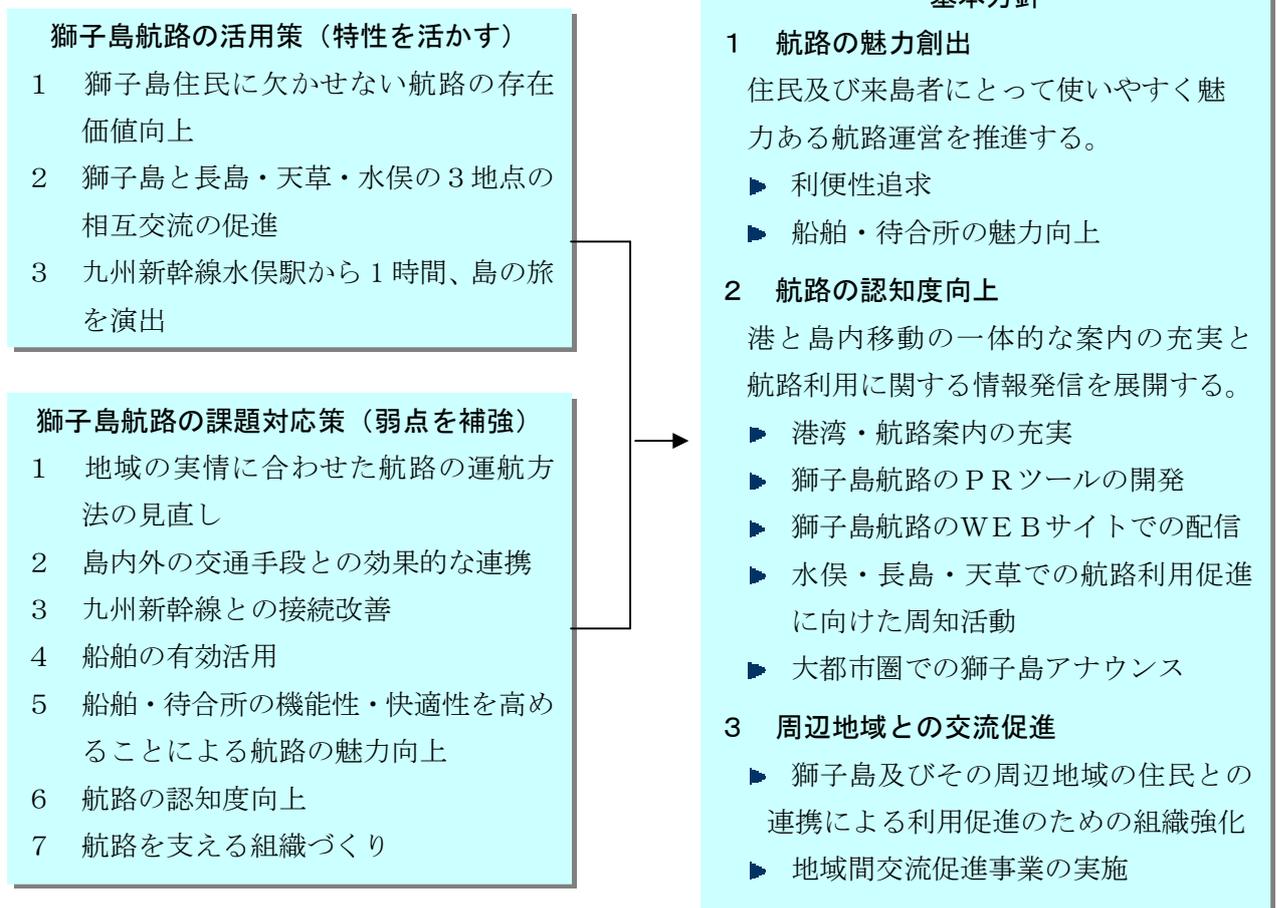
しかしながら、獅子島航路は離島である獅子島の住民にとって生活航路であると同時に、若者の流出を抑え、地域社会・産業の活性化を図るうえで重要な社会インフラである。また、獅子島は雲仙天草国立公園内にあり、気候風土や自然面で周辺エリアと共通性があり、住民の交流、文化特性から見ても深いつながりのある経済・文化圏域の中央付近にある。

このような獅子島航路の立地特性から、船舶の効率的な運用や利便性の向上など、住民に欠かせない交通機関として航路の存在価値を高める努力はもちろんのこと、周辺地域相互間の移動ニーズや長島、天草、水俣を訪れる観光客等の移動ニーズを取り込み、「乗りたくなる船」「船で渡りやすい島」を創造することで航路の活性化・再生に取り組むものとする。

#### 【テーマ】

#### 獅子島を活かした航路の活性化プラン ～訪れたい島、乗りたい船にするために～

#### 【基本方針】



## 1 航路の魅力創出

### (1) 利便性の追求

人口の減少が進むなか、地域の実情に合わせ獅子島航路の運航方法を見直し、地域のニーズに配慮した利便性の高い運航を図ることが必要である。また、獅子島航路の二次交通である獅子島巡回バスや長島マンダリン号などの島外のバスと航路の乗り継ぎをスムーズにするなど、島内外の交通手段との連携を高めることで、獅子島航路の利便性を向上させることが必要である。さらに、九州新幹線の全線開通を見据え、新水俣駅から獅子島航路へのアクセス性の向上を図る必要がある。

このような課題に対応するために、航路と航路、航路とバス、九州新幹線との接続の改善により獅子島住民の利便性の向上、これまで利用したことのない長島町、天草市、水俣市の住民の利用を促進する。また、平成23年春の九州新幹線の全線開通時に地域住民および周遊観光客が移動しやすい環境を整えるため、昼間稼動していない「すずかぜ2」を不定期クルーズとして運航し、新たな需要を創出する。

### 【実施施策】

#### ①船と船との接続

獅子島航路は、獅子島島内の片側港、幣串港、御所ノ浦港が起点となり運航されている。そのため、獅子島島内で船と船の乗り継ぎは幣串港での1パターンだけである。その場合は、「すずかぜ2」が諸浦港を17時2分に出港し、幣串港に17時14分に到着し、17時20分発の「ししじま」に乗り継いで17時50分に水俣港に到着するルートとなる。このような船舶の乗り継ぎによる利便性向上を図るため、「ししじま」を幣串港と片側港の間に運航させ、片側港を乗り継ぎポイントとして活用する。

#### ②獅子島巡回バスと船との接続改善

獅子島巡回バスは、週3日（火・木・土）運行され、そのダイヤは幣串港の「ししじま」の発着に合わせてある。そのため巡回バスの利用者は病院や買い物で水俣方面へ行く利用者がほとんどを占める。また、片側港にはバス停はなく、フェリーロザリオの乗降客の利用はほとんどみられていない。こうした課題を解決するため、巡回バスの時刻の改善、バス停を片側港に新設し、島内移動と一体的な航路の利用を促進する。

#### ③航路と新幹線との接続改善

九州新幹線の全線開通を見据え、新水俣駅から獅子島航路へのアクセス性の向上を図るために、新水俣駅と水俣港のバスによる接続や新水俣駅・出水駅から航路を介したレンタカー・観光バスによる獅子島・天草周遊プランを企画・実施する。

#### ④セット切符の発行

獅子島航路の利便性向上を図るため、公共交通機関が連携し、乗継切符、周遊切符を発行する。

#### ⑤レンタサイクルの導入

化石ツアー等で訪れる観光客の島内移動を容易にするため、電動アシスト付き自転車を

購入し、レンタサイクルのサービスを提供する。

#### ⑥不定期クルーズの運航

朝夕 1 往復の運航となっている「すずかぜ 2」を昼間の時間帯、獅子島周遊や御所浦白亜紀資料館と獅子島を結ぶ化石ツアー、釣り体験船等、多目的に利用する。その際は、フェリー「ロザリオ」や「ししじま」との連携を図り、獅子島航路全体の利用を促進する。

### (2) 船舶・待合所の魅力向上

厳しい経営状況の中で航路が運営されているとはいえ、利用者にとって本当に心地よい船にはなっていると言えない面がある。

雲仙天草国立公園内を航行する船舶としての魅力を高め、航海中の楽しみを提供することにより、乗船客の獅子島への関心を抱かせ、来島を促す。また、待合所においては航路情報や地域情報の提供、特産品販売等、その機能を充実させ、航路利用の促進につなげる。なお、4 箇所の待合所のうち、片側港、幣串港の待合所は平成 22 年 3 月に新設されている。

船舶・待合所の魅力を向上させることによって、日頃利用している住民の間に航路への愛着が生まれ、航路利用促進の機運が醸成されることが期待される。また、航路の魅力や船でのサービスが話題となり、新たな利用者の拡大につながることが望まれる。

### 【実施施策】

#### ①リペイント及び船内の魅力づくり

フェリー「ロザリオ」及び「ししじま」のドッグ入りに合わせて、船舶の概観を整備する。また、内装についても情報発信や快適性を追及した整備を行う。

#### ②航路ガイド整備

現状、風光明媚な航路を往来するにもかかわらず、見どころの案内やこれから向かおうとする「獅子島」「天草」「本土」などのガイドがないため、航路ガイドを整備する。また、乗組員やスタッフのユニフォーム、ホスピタリティなども改善する。

#### ③待合所の機能強化

各港湾に整備された待合所において、周辺散策マップや地域情報のパンフレット等を提供する。また、観光客の来島が予想される土曜日、日曜日に特産品の販売や軽食サービスを提供する。

## 2 航路の認知度向上

### (1) 港湾・航路案内の充実

獅子島航路の案内や発着する諸浦港、片側港、幣串港、中田港、水俣港の各港における船舶発着場所、使用船舶の特徴（旅客船、フェリー）、切符の購入場所、乗船口等、初めて利用する人やこれから利用しようとする人にとって大変わかりにくい状況にある。また、地域の案内板に獅子島航路が記載されていないものも多く見受けられる。

このような現状を改善し、新規利用者が航路の存在、特性を認知し、獅子島への来島や長島・天草・水俣の地域間移動が促進され、航路利用者が増加することを見込む。

#### 【実施施策】

##### ① 獅子島航路をアピールするための航路イメージ統一ロゴの製作

化石や獅子等、獅子島を代表するものをイメージするロゴを作成し、デザイン追及によるアピール性を高めるものとする。

##### ② 航路案内地図（ボード）、案内板の設置

港における獅子島航路に関する情報の提供が不十分で、航路の存在さえ掲載されていない案内板もみられる。こうした状況を改善するために航路案内地図（ボード）、案内板を設置する。

### (2) 獅子島航路PRツールの開発

獅子島航路に関するペーパーツールは現況ではきわめて少ない。そこで最も望まれる獅子島航路情報発信のための基本ツールを作成し、航路と獅子島の認知度向上と来島を促す動機づくりにより航路の利用を促進する。

#### 【実施施策】

##### ①獅子島航路のチラシ、パンフレット、ポスターの作成

### (3) 獅子島WEBサイトでの配信

長島町のWEBサイトでは、天長フェリー、三和フェリーの紹介はあるが、長島～獅子島航路や獅子島～水俣航路の紹介はない。広域的な移動利用や自動車での移動の多い現状では、フェリーの案内にとどまっているのは仕方がない面もあるが、九州新幹線の全線開通、南九州西回り自動車道の整備進捗を考えると獅子島3航路の全てを紹介する必要がある。また、航路情報や地域情報の提供に加え、獅子島公共交通ネットワーク協議会の活動内容を紹介し、関係機関、住民を巻き込んだ航路活性化・再生の取組みに発展させる。

#### 【実施施策】

##### ①長島町WEBサイトへの掲載

タイムリーな航路案内や各種情報を長島町のWEBに獅子島公共交通ネットワーク協議会

のサブ・ページを製作し、配信する。また、天草市や水俣市の WEB サイトとリンクし、共通する地域情報の提供や地域が協働で取組んでいることを広く情報発信する。

#### ②長島町商工会の WEB サイトにリンク

長島町商工会では、地元の宿泊施設・観光施設の紹介や地域イベントの案内、焼酎・海産物等の地域特産品の斡旋等を WEB サイトにおいて公開している。このような WEB サイトにリンクすることで、地域内外に獅子島及び獅子島航路をアピールする。

### (4) 水俣・長島・天草での航路利用促進に向けた周知活動

獅子島航路の認知度は、獅子島周辺の長島町、天草市、水俣市の住民においてかなり低い。観光関係者でも知らない、乗ったことがないという向きが多い。このような現状を踏まえ、周辺地域での獅子島航路の周知活動を実施し、住民の利用機会につなげる必要がある。そこで、航路利用促進の効果が見込まれる地域イベントや観光スポットで航路の情報発信を行う。

#### 【実施施策】

##### ① 地域イベントでの航路情報の発信

周辺地域で開催される地域イベントにおいて参加者に航路を介した移動情報を提供する。

##### ② 獅子島周辺地域の観光スポットにおける情報発信

長島にオープンした黒之瀬戸だんだん市場や天草牛深港の海彩館、JR 新水俣駅、出水駅など、獅子島へのアクセスに便利なポイントにおいて情報発信に取り組む。

### (5) 新幹線全線開通を見据えた大都市圏での獅子島アナウンス

九州新幹線の全線開通や南九州西回り自動車道の整備進捗に対応して、九州北部や関西圏からの観光客の利用を促していく必要がある。その際、雲仙天草国立公園内の航路で、鹿児島県と熊本県のいずれの観光戦略にも関係するという地理的メリットを活かすことが重要である。また、離島体験や化石といった限定したテーマを扱う旅行企画に「新幹線駅から1時間圏の島の旅」をアピールし、ターゲットを絞った情報発信を展開する。

#### 【実施施策】

##### ① 鹿児島県の観光案内施設（アンテナショップ等）等での情報発信

県外の鹿児島県観光案内施設や博多駅・広島駅等のターミナルでチラシ、パンフレット等を配布し、獅子島及び交通情報の発信を行う。

##### ② 離島体験や化石関連ツアー募集における交通情報の提供

獅子島に関心を示す層（中高齢者、化石マニア、都会の喧騒から癒しを求める人々）に対して交通手段に応じた適切な交通情報を発信する。

### 3 航路を活用した周辺地域との交流促進

#### (1) 獅子島及びその周辺地域住民の連携による航路利用促進のための組織強化

獅子島航路は獅子島住民にとって欠かせない生活航路であると同時に、長島町、天草市、水俣市の3市町を結び、経済・文化の相互交流を可能にする広域経済圏航路とみることができ。しかし現状では、航路利用者は獅子島及びその周辺住民の一部に限定されている。

このような状況を改善し、航路活性化・再生を実現するためには航路を支える組織づくりが重要な課題となっている。

そこで、獅子島公共交通ネットワーク協議会の下に、航路事業者、バス・鉄道事業者、獅子島住民、NPO等の活動団体、長島・天草・水俣の商工観光関係者、民宿経営者等からなる航路利用促進の部会を組織化し、地域で航路を支えていく体制づくりを推進する。

#### 【実施施策】

##### ① 住民参画による事業の実施

連携計画で取り上げる各種事業の検討・実施の過程で、航路事業者、バス・鉄道事業者、獅子島住民、NPO等の活動団体、長島・天草・水俣の商工観光関係者、民宿経営者等の参画のもとで推進する。このことにより、地域住民の航路情報や地域情報の共有化と地域連携が図られ、航路利用につながると期待される。

#### (2) 航路を利用した地域間交流促進事業の実施

獅子島を囲む広域経済圏内での地域間交流事業を実施し、獅子島航路を主要な移動手段として活用することにより公共交通のネットワーク拡大をめざす。

#### 【実施施策】

##### ① 航路を利用した地域イベントの開催

離島振興や地域活性化・元気再生事業として取り組まれている事業と連携して、航路利用を促進する。

##### ② 地域連携の旅行商品企画と実施

獅子島及びその周辺地域で開催される様々なイベントと連携した旅行商品を企画・実施する。

#### <航路と地域事業・旅行商品の連携>

- ・獅子島ウォークの年複数回開催
- ・海洋スポーツイベントとの連携
- ・御所浦白亜紀資料館との連携による水俣港発のジオパークツアー
- ・島の旅や自然環境教育をテーマにしたツアー

## 【獅子島航路の活性化・再生事業に伴い期待される効果・影響】

### <基本方針及び実施施策>

### <期待される効果・影響>

#### 1. 航路の魅力創出

##### (1) 利便性の追求

- ① 船舶による幣串港～片側港の運航
- ② 獅子島巡回バスと船との接続改善
- ③ 航路と新幹線との接続改善
- ④ セット切符の発行
- ⑤ レンタサイクルの導入
- ⑥ 不定期クルーズの運航

- ・ 獅子島住民の円滑な移動の確保
- ・ 住民の船を介した移動時間の短縮
- ・ 航路利用の満足度向上
- ・ 観光利用の可能性拡大
- ・ 船舶の稼働率向上
- ・ 増収効果
- ・ 雇用の維持

##### (2) 船舶・待合所の魅力向上

- ① リペイント及び船内の魅力づくり
- ② 航路ガイド整備
- ③ 待合所の機能強化

- ・ 航路イメージアップ
- ・ 利用者満足度の向上
- ・ リピーターの確保
- ・ 地域特産品等の売場提供

#### 2. 航路の認知度向上

##### (1) 港湾・航路案内の充実

- ① 航路イメージ統一ロゴの製作
- ② 航路案内地図(ボード)、案内板の設置

- ・ 獅子島航路の周知と利用促進
- ・ 航路情報の掲示と利用促進

##### (2) 獅子島航路PRツールの開発

- ① 航路のチラシ、パンフレット、ポスターの作成

- ・ 獅子島航路の周知と利用促進

##### (3) 獅子島WEBサイトでの配信

- ① 長島町WEBサイトへの掲載
- ② 長島町商工会のWEBサイトにリンク

- ・ 航路利用者の満足度アップ
- ・ 航路利用者の拡大
- ・ 地域ネットワーク拡大

##### (4) 水俣・長島・天草での航路利用促進に向けた周知活動

- ① 地域イベントでの航路情報の発信
- ② 観光スポットでの情報発信

- ・ 航路利用者の確保
- ・ 周遊客の確保

##### (5) 大都市圏での獅子島アナウンス

- ① 鹿児島県の観光案内施設での情報発信
- ② 離島体験や化石関連ツアー募集における交通情報の提供

- ・ 獅子島航路の周知と利用促進
- ・ 航路情報の掲示と利用促進

#### 3. 周辺地域との交流促進

##### (1) 航路利用促進のための組織強化

- ① 住民参加による事業の実施

- ・ 航路利用促進に向けた意識醸成
- ・ 事業の実効性向上

##### (2) 航路を利用した地域間交流促進事業の実施

- ① 航路を利用した地域イベントの開催
- ② 地域連携の旅行商品企画と実施

- ・ 周辺住民の利用機会創出
- ・ 航路利用者層の拡大
- ・ リピーター創出
- ・ 航路による地域間交流の促進
- ・ 航路利用者の確保

獅子島航路活性化・再生

航路利用の促進

- ◆ 獅子島及びその周辺地域住民の航路利用促進
- ◆ 長島、天草、水俣を訪れる観光客等の航路利用の促進